

令和4年度の取り組み

1 経過

令和4年2月の札幌圏を中心とした大雪による輸送障害について、各機関が行った対応策等を検証し、課題を明らかにした上で、改善策など、今後の取り組み等について協議・検討を実施。

2 検証内容

大雪による輸送障害(札幌-新千歳空港)によって、JRの運休に伴う各関係機関等との連絡体制や情報共有、代替輸送の確保などの対策が課題となった。

(1) 輸送障害の状況等

- 令和4年2月 6日～13日 JR計 3,525本運休/利用者 約56万人に影響
- 令和4年2月 21日～27日 " 3,559本運休/ " 約47万人に影響

(2) 課題等

JR復旧作業に係る 応援・受援等	・ 作業員及び除雪機械等の体制強化など
バス路線の運行継続	・ 道路の狭隘化でバス運行が不能、運休・遅延が多発 ・ 運行状況等に関して利用者への周知が課題
代替輸送の確保	・ 高速道路や主要幹線道路などの除雪状況の把握等 ・ 空港連絡バス等の対応等

3 検証結果

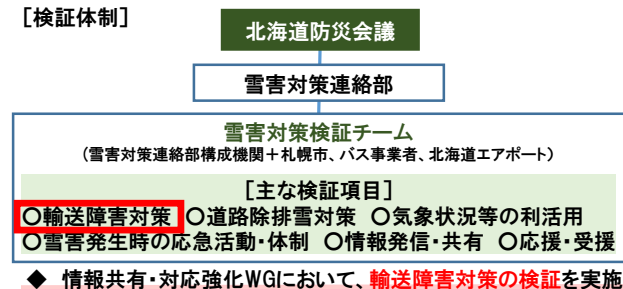
(1) 今後取り組む事項

- JR北海道における除雪体制の強化及び受援体制の構築として、記録的な大雪等に備え、除排雪機械等の増強や自社・グループ会社等、応援体制の強化。
- 公共交通利用者に対する情報の周知として、「北海道旅の安全情報サイト」、外国人観光客等に対する災害情報伝達システム等を活用した運行情報発信。
- 「札幌-新千歳空港」間における代替輸送の確保に向けて、JR運休状況や高速道路・主要幹線の除雪状況に応じ、代替輸送バスの確保やタクシー営業区域外輸送の実施など、代替輸送手段の円滑な確保に向けた体制を構築。

(2) 検証結果の報告等

情報共有・対応強化WGにおいて検証を行い、検証結果を雪害対策連絡部会議へ報告。北海道防災会議幹事会での協議を経て北海道防災会議へ報告。

【検証体制】



(検討経過)

- R4.2.22 雪害対策連絡部会議  
⇒ 雪害対策検討チーム設置
- 3.30 雪害対策連絡部会議  
⇒ 対応等方向性取りまとめ
- 5.27 雪害対策検討チームコア会議
- 5.31 雪害対策連絡部会議  
⇒ 報告書(案)取りまとめ
- 6.3 北海道防災会議幹事会へ報告
- 6.9 北海道防災会議へ報告

(雪害他作連絡部による訓練実施)

- R4.11.15 WG構成員へのメール伝達等

令和5年度の取り組み

4 令和4年度冬季間における輸送障害等の検証

令和4年2月の輸送障害における検討結果を踏まえ、雪害による大規模障害が発生した場合の対応策の検証として、令和4年度冬期間(R4.11～R5.3)の輸送障害への対応など、道が発令したレベル宣言の検証についてWG担当者会議で検討。

(1) レベル宣言の状況

- レベル宣言回数：計10回（延日数30日間）  
（警報発令 2回、JR計画運休 3回、空港連絡バス運休 3回など）

レベル	1	2	3	4	5
状況	気象台から 大雪警報予測連絡	警報発令 (道:第1非常配備)	運休等 輸送障害発生	輸送障害対応 (道:第2非常配備)	大規模輸送障害 (道:第3非常配備)
R4宣言 状況	2回	2回	5回	1回	-

※ レベル宣言は、令和4年8月の第2回WG担当者会議で設置。

(2) 検討事項

- 輸送障害対策において、「情報共有」と「情報発信」の更なる検討が必要
- レベル宣言の基準について再検討が必要（運輸局との基準を調整）

5 検証結果

【ワーキンググループでの主な意見等(WG担当者会議:6回開催)】

- 道東・道北方面でのJRとバスの一部運休や道東での停電による災害対策本部の設置による「レベル4」宣言は、これまでの札幌圏での雪害対応と比較して、基準の見直しが必要。
- JRの計画運休は見込み段階から関係者間で情報共有が図られたことから大きな混乱等が生じなかったため、今後は、バス運行や道路情報等も含めた対応策等の検討が必要。
- 高齢者などのスマホ非対応者に対する周知の強化や、SNS等のプッシュ型通知の受け入れなど、利用者に事前設定するような、情報発信媒体の更なる周知が必要。

【公共交通利用者に対する情報の周知等】

- 「北海道旅の安全情報サイト」の活用に向けて、交通情報の周知を図る。

6 今後の進め方

- レベル宣言の基準について、運輸局の注意体制と道庁のレベル発動と多少差が生じているとの意見から、今後は、輸送障害の取扱いやレベル基準の見直しについて、運輸局との協議・検討を進める。
- 情報共有のあり方として、道から関係機関へのメールの共有については、頻度や方法について、出来るだけ煩雑とらない方法を模索すべきとの意見から、メールでの共有の簡略化や見込み情報も含め、今後の対応について検討する。
- 情報発信について、観光客や外国人への発信強化の必要性についての意見を踏まえ、今後、高齢者などスマホ非対応の方々への周知も含めた、情報発信媒体の更なる周知体制等の構築に向けて検討を進める。

# 令和4年2月の札幌圏を中心とした大雪に係る「輸送障害に係る検証」について

- 令和4年2月上旬の大雪 → 2月6日～13日の間でJRが計3,525本運休。約55万5,200人に影響。
- 令和4年2月下旬の大雪 → 2月21日～27日の間でJRが計3,559本運休。約47万4,230人に影響。新千歳空港で最大約6千人の滞留者。

課題

JRの早期復旧  
バス路線の運行継続

・災害級の降雪を想定した場合、作業員及び除雪機械等が不十分との見方もあり、体制強化の可否が課題  
道路の狭隘化でバス運行が不能となり運休や遅延が多発。

代替輸送の確保

・バス事業者としては、最大限の利用者への周知を行ったが、利用者に行き届かない部分があった。  
・高速道路や主要幹線道路などの除雪状況を各関係機関が迅速に把握することが難しい。  
・空港連絡バスの増便でも対応しきれない数の場合の対応が課題（新千歳空港での滞留者が発生）  
・快速エアポートの運行再開の情報が二転三転。再開の見極めに関する精度の向上が課題。

北海道防災会議

指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関、学識経験者等 65機関

最終報告（令和4年6月）

JR北海道独自の検証

北海道運輸局へ中間報告  
（令和4年3月16日）

共有

北海道雪害対策連絡部

指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関等 22機関

※通常は毎年11月～3月までの設置のところ、本検証を行うため、4月以降も設置継続

雪害対応検証チーム（令和4年5月取りまとめ）

（北海道雪害対策連絡部構成機関＋札幌市、バス事業者、北海道エアポート）

[コア機関] 道（事務局）、札幌市、北海道運輸局、北海道開発局、JR北海道、バス事業者、日本貨物鉄道、北海道エアポート、NEXCO東日本、気象台、自衛隊、警察、教育庁

- 【主な検証項目】
- 輸送障害対策
  - 道路除排雪対策
  - 気象情報等の利活用
  - 雪害発生時の応急活動・体制
  - 情報発信・共有
  - 応援・受援（自衛隊災害派遣含む）

輸送障害に係る検証 ⇒ 情報共有WGで検討

[関係機関] 北海道運輸局、道、JR北海道、バス事業者、日本貨物鉄道、北海道エアポート 等

道路除排雪に係る検証

[関係機関] 北海道開発局、道、札幌市、NEXCO東日本 等

# 令和4年度の情報共有・対応強化WGによる対応結果

<札幌一新千歳空港間における輸送障害への主な結果>

WG 開催状況	情報共有・対応強化WG（令和4年4月28日開催）	情報共有・対応強化WG担当者会議（全6回）																									
R4 期間中 対応状況	<p align="center">&lt;今回の対応&gt;</p> <table border="1"> <tr><td>レベル宣言回数</td><td>10回</td></tr> <tr><td>レベル宣言期間</td><td>30日間</td></tr> <tr><td>警報発令</td><td>2回</td></tr> <tr><td>情報発信</td><td>3回</td></tr> <tr><td>JRの計画運休</td><td>3回</td></tr> <tr><td>空港連絡バスの運休</td><td>3回</td></tr> <tr><td>高速道路の通行止め</td><td>3回</td></tr> </table> <p>※レベル分類</p> <table border="1"> <tr> <td>レベル</td> <td><b>1</b> [輸送障害発生防止準備]</td> <td><b>2</b> [輸送障害発生防止]</td> <td><b>3</b> [輸送障害初期対応]</td> <td><b>4</b> [輸送障害対応]</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>道雪害対策連絡部会議開催</td> <td>警報発令(第1非常配備)</td> <td>運休等の輸送障害発生</td> <td>応急対応発生(第2非常配備)</td> </tr> </table>	レベル宣言回数	10回	レベル宣言期間	30日間	警報発令	2回	情報発信	3回	JRの計画運休	3回	空港連絡バスの運休	3回	高速道路の通行止め	3回	レベル	<b>1</b> [輸送障害発生防止準備]	<b>2</b> [輸送障害発生防止]	<b>3</b> [輸送障害初期対応]	<b>4</b> [輸送障害対応]	状況	道雪害対策連絡部会議開催	警報発令(第1非常配備)	運休等の輸送障害発生	応急対応発生(第2非常配備)	<p align="center">&lt;主な意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運転手の2024年問題で、現体制を維持できなくなる可能性があるため、関係者間で対応などの検討が必要</li> <li>○効果検証は来冬期に向けて行うこととしており、プラスであることは間違いないが、お客様にご迷惑をかけない範囲の検証が必要</li> <li>○計画運休の際の対応など、段階的に対応できるよう事前に対処計画が必要</li> <li>○来年度以降も雪害対応が生じることを前提に、現在の枠組を上手に活かして、より有効な対応ができるよう進めていきたい</li> <li>○運輸局の注意体制は6回と道庁のレベル発動と多少差がある</li> </ul>	<p align="center">&lt;今後検討すべき事項(案)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年12月の道東・道北方面でのJRとバスの一部運休や道東での停電により災害対策本部の設置により併せて宣言した「レベル4」は、これまでの札幌圏での対応と比較して、レベルの相違が生じている。</li> <li>○雪害対策連絡部の設置による「レベル1」宣言は、石狩管内（中部・南部）の警報発令がない場合もあったので、対応等は明確にするべき。</li> <li>○以上に加えて、「輸送障害に該当する案件を明確にしてほしい」「基準を見直す必要がある」といった意見があったため、<b>輸送障害の取り扱いやレベルの基準の見直しの検討</b>を行う。</li> </ul>
レベル宣言回数	10回																										
レベル宣言期間	30日間																										
警報発令	2回																										
情報発信	3回																										
JRの計画運休	3回																										
空港連絡バスの運休	3回																										
高速道路の通行止め	3回																										
レベル	<b>1</b> [輸送障害発生防止準備]	<b>2</b> [輸送障害発生防止]	<b>3</b> [輸送障害初期対応]	<b>4</b> [輸送障害対応]																							
状況	道雪害対策連絡部会議開催	警報発令(第1非常配備)	運休等の輸送障害発生	応急対応発生(第2非常配備)																							
情報共有	<p><b>【実施状況】</b> 10回（レベル宣言に伴う）</p> <p><b>【対応方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①道から関係機関へメール送信(原則)（レベルに応じて電話連絡も）</li> <li>②関係機関から道へ状況等報告</li> <li>③道から関係機関へ取りまとめ結果をメールにより共有</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ掲載や報告などへのタイムラグや手間を要する点は改善が必要</li> <li>○メールの添付ファイルより、メールを簡略化し、例えば「JRに運休が発生している」と記載し、リンクを貼るなどの対応を検討</li> <li>○SNSの活用方法やマスコミとの連携など有り様があるのではないかと</li> <li>○石狩管内の警報発表が全てレベル発動対象という点は見直す</li> <li>○道庁への情報提供後、その情報が共有され、どのような対応が行われたのか、次回に向けて個別に検討したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「HPを参照したほうが最新情報を取得できる」といった意見もあることから、WGとしては、<b>情報発信伝達を確実に実施できる体制の強化に主に取り組む</b>。</li> <li>○JRの計画運休は見込み情報の段階から共有が出来たため、WGとしては、バスや道路などの<b>見込み情報も含め今後の対応について検討</b>を行う。</li> </ul>																								
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道HP等への情報の掲載</li> <li>○道から市町村・WG関係機関へSNS・HP等での輸送障害の状況・対応予定等の情報の発信伝達を依頼⇒別紙参考資料による</li> </ul> <p><b>【雪害対策連絡部による訓練の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■日時：令和4年11月15日</li> <li>■WG構成員へのメール伝達確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社員の勤務やお客様の誘導案内等に非常に役立っており、今後とも情報をいただきたい</li> <li>○検索に時間がかかるので、できれば詳細なデータで一発周知できる体制として欲しい</li> <li>○札幌駅に輸送障害の案内が出ていなかったため、他機関からの協力を得ながら、何とか対応ができないかと</li> <li>○札幌駅の滞留者が多くなるので、大谷地BTへの案内等適切に周知していくことがインバウンドが復活していく中での課題</li> <li>○観光客や外国人への発信強化はもう少し努力が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者などの<b>スマホ非対応者に対する周知の強化</b>や、SNS等の<b>プッシュ型通知の受け入れ</b>など、利用者に事前設定するような、<b>情報発信媒体の更なる周知を検討</b></li> <li>○駅やバスターミナル、地下通路など主要施設での情報発信に向けた取組、協力体制の構築を検討</li> </ul>																								

# 令和4年度のWGによる対応結果（全体）

## <札幌-新千歳空港間における輸送障害への主な結果>

区分	今冬期間中	～12月	1月	2月	3月
レベル宣言期間	30日間	11日間	15日間	4日間	-
レベル宣言回数	10回 レベル1：2回 レベル2：2回 レベル3：5回 レベル4：1回	3回 レベル1：2回 レベル4：1回	5回 レベル2：2回 レベル3：3回	2回 レベル3：2回	-
警報発令 (石狩中部・南部)	2回	-	2回	-	-
情報発信	3回	-	2回	1回	-
JRの計画運休	3回	-	2回	1回	-
空港連絡バスの運休	3回	1回	1回	1回	-
高速道路の通行止め	3回	1回	1回	1回	-

- 12月の道東・道北方面でのJRとバスの一部運休や道東での停電により災害対策本部が設置されたことにより「レベル4」を宣言したが、札幌圏での利用者への影響を考慮して設定した「レベル設定」の考え方との整合を図ることが必要
- 雪害対策連絡部の開催でのレベル1宣言は、石狩管内（中部・南部）の警報発令がない場合もある
- 以上に加えて、「輸送障害に該当する案件を明確にしてほしい」「基準を見直すことも検討が必要」といった意見もあることから、**輸送障害の取り扱いやレベルの基準の見直し検討も必要**



# 令和4年度のWGによる対応結果（概要）

	宣言日時		解除日時		レベル	宣言理由	警報発令状況	輸送障害の状況等
	日	時	日	時				
1	R4.11.29	16:02	R4.12.2	9:58	1	雪害対策連絡部会議開催（11/29）	石狩北部に暴風雪警報発令（11/30 9:36～12/2 1:05）	<参考> JRは、長万部・小樽間で運転見合わせ（12/1）
2	R4.12.13	15:59	R4.12.17	7:17	1	雪害対策連絡部会議開催（12/13）	石狩北部に暴風雪警報発令（12/14 3:56～12/16 10:15）	JRは、エアポートが2本運休（12/15 9時台及び11時台各1本運休）
3	R4.12.21	17:52	-	-	なし	雪害対策連絡部会議開催（12/21）	石狩管内に警報発令なし	
4	R4.12.23	13:47	R4.12.24	13:35	4	災害対策連絡本部設置（12/23）	石狩管内に警報発令なし	JRは、札幌・新千歳空港間で障害等なし 空港連絡バスは、高速道路通行止めの影響により、一部区間運休（12/23） 高速道路は、札幌道・札幌西IC～札幌IC、道央道・札幌IC～札幌南IC間作業のため通行止め
5	R5.1.3	10:16	R5.1.4	9:01	2	大雪警報発令（1/3）	石狩中部（江別市）に大雪警報発令（1/3 9:52～1/3 16:16）	JRは、エアポート2本が部分運休（1/3 12時台及び13時台各1本運休） （他エリアでの車両繰りのため）
6	R5.1.10	6:28	R5.1.11	9:03	2	大雪警報発令（1/10）	石狩中部（札幌市）及び南部に大雪警報発令（1/10 4:51～1/10 16:42）	JRは、エアポートが、小樽方面の降雪の影響による車両繰り等のため、31本運休及び部分運休（札幌・小樽間）
7	R5.1.19	16:29	R5.1.21	16:51	3	雪害対策連絡部会議開催（1/19）	石狩管内に警報発令なし	JRは、エアポート4本が全区間運休（1/20 20～21時台） その他、函館・千歳線、学園都市線で一部列車が運休（1/21 9～19時台1本/毎時）
8	R5.1.23	15:48	R5.1.26	17:17	3	雪害対策連絡部会議開催（1/23）	石狩北部に暴風雪警報、波浪警報発令（1/24 21:47～1/26 9:32）	JRは、エアポートなどを計画運休（1/24 20本、1/25 50本、1/26 57本） 高速道路は、札幌道・札幌南～小樽間吹雪のため通行止め（1/24） 空港連絡バスは、高速道路通行止めの影響により、一部区間運休（1/24、25）
9	R5.1.28	12:28	R5.1.30	9:03	3	暴風雪警報発令（1/28）	石狩北部に暴風雪警報、波浪警報発令（1/28 11:43～1/29 5:04）	JRは、エアポートなどを計画運休（1/29 22本 9時～19時台毎時1本運休） その他、千歳線、学園都市線などで一部列車が運休
10	R5.1.31	13:47	R5.2.2	13:11	3	雪害対策連絡部会議（1/31） JR北海道の計画運休（2/1 20:00～2/2 11:00頃）	石狩管内に警報発令なし	JRは、エアポート（2/1 30本、2/2 44本）を含む札幌圏発着列車を計画運休（2/1 20時～2/2 11時）
11	R5.2.9	16:23	R5.2.10	8:56	3	高速道路通行止めによる空港連絡バス全線運休（2/9）	警報発令なし	高速道路通行止め（千歳・銭函間）の影響により、空港連絡バスの全線運休（2/9）

# 令和4年度のWGによる対応結果（情報発信）

## <訓練でとりまとめた対応予定と実際の対応>

※青文字が予定、赤文字が実際の対応結果

企業・団体・機関名	周知対応の有無	対応（予定）内容	プッシュ型の周知		プル型の周知	
			SNS等 （アプリを含む）	メール・FAX （メルマガなど）	WEB （HPなど）	掲示物等 による周知
一般社団法人北海道バス協会	○	・道庁のSNSリツイート等により、情報を発信することを検討していきたい。	○ ○	-	-	-
一般社団法人北海道ハイヤー協会	○	・会員事業者に対して、HAPやJRへの協力を行うよう依頼	-	○ ○	-	-
北海道旅客鉄道株式会社	○	・ホームページにて全面運休の告知 ・空港アクセスバス会社への連絡と増便の要請 ・HAPホットラインへの連絡、対策会議開催の打合せ	- ○	-	○ ○	- ○
ANAあきんど株式会社札幌支店	-	-	- ○	-	-	-
北海道エアポート株式会社	○	・空港利用者向けにJRの終日運休および空港連絡バスの大谷地ピストン輸送実施について新千歳空港ツイッターで周知 ・関係機関向けに12月8日の航空便運航予定、航空便予約数、タクシーの営業区域外運送実施、空港連絡バスの大谷地ピストン輸送実施、貸切バスの緊急乗合輸送の実施についてメーリングリストにて周知	○ ○	○ ○	-	-
東日本高速道路株式会社北海道支社	○	・自社ツールを活用した情報拡散について検討中	-	-	-	-
北海道経済連合会	○	・会員への周知や啓発（メーリングリスト）	-	○ ○	-	-
一般社団法人北海道商工会議所連合会	○	・会員への周知や啓発（メーリングリスト） ・HPへの掲載	-	○ ○	○ -	-
公益社団法人北海道観光振興機構	○	・機構内で情報共有 ・観光客からの問合せ個別対応	-	○ -	○ -	-
北海道ホテル旅館生活衛生同業組合	○	・メールを活用しての情報提供 ・個別に旅行者からの連絡があった場合は、旅の安全情報サイトで確認願うよう誘導	-	○ ○	○ -	-
国土交通省北海道運輸局	○	・北海道旅の安全情報サイトについて情報提供機関へ情報提供依頼 ・バスターミナル等へ旅客滞留状況調査のため職員を派遣 ・今後、上記調査結果等をふまえて災害情報伝達システムの発動を検討する	-	-	○ ○	-
国土交通省北海道開発局	○	・SNSで周知	○ -	-	-	-
札幌市	○	・市の広報ツールにより周知	○ ○	- ○	○ ○	- ○
札幌管区気象台	-	-	-	-	-	-
北海道	○	・HPで周知 ・SNSで周知 ・関係者へメール周知（及び周知依頼） ・庁内掲示及び庁内放送 など	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

○ 高齢者などの**スマホ非対応者に対する周知の強化**や、SNS等のプッシュ型の通知を受け取れるように、利用者に設定しておいていただけるような、**情報発信媒体の更なる事前周知**も必要

# (参考) 情報周知依頼への対応

## <北海道（本庁）での主な対応>

### 本庁舎や別館庁舎での周知



## 庁内放送による周知

(2/1: 10時・14時・17時)

- 総合政策部交通政策局交通企画課から職員並びにご来庁の皆様へお知らせします。
- JR北海道では、本日夕方から明日の午前11時頃まで、悪天候の影響に伴う、最終列車の繰り上げや、運休が予定されております。
- 特に、本日20時から明日の午前11時頃までは札幌圏を発着する各方面への列車が運休となりますので通勤時間等に十分ご注意くださいとともに、ご利用の際は、JR北海道ホームページ等により最新の運行状況をご確認ください。※17時のアナウンス

## お知らせ

本日(2/1)、悪天候の影響により札幌圏を含む道内各方面の列車に

**最終列車の  
繰り上げを含む  
運休**

が発生しています。

詳細な運行情報は  
JR北海道ホームページ等  
ご確認ください。

(北海道総合政策部交通政策局)

## お知らせ【追加】

明日(2/2)11時頃まで  
札幌圏を含む道内各方面の列車が

**運休継続**

詳細な情報はJR北海道ホームページ等  
ご確認ください。

(総合政策部交通政策局交通企画課)

※ 2/1AM中に道政記者クラブへも周知



# (参考) 北海道 旅の安全情報サイトの周知について

## <北海道（本庁）での主な対応>

### ● 大型ビジョンでの広報（1/14～1/20）

- ・ 札幌市駅前通地下歩行空間ビジョン
- ・ メガビジョン（札幌駅南口）
- ・ サッポロファクトリー大型ビジョン
- ・ 札幌パルコビジョン

**今年の冬も大雪に備えよう!**

冬期間は、暴風雪による停電や遭難といった災害が多く発生します。気象情報や交通情報等に注意して、暴風雪が予想される時は、家の中で過ごすなど外出を控えましょう。

検索してサイトをブックマークしよう!

今冬は交通障害発生時の混乱解消に役立つ  
**北海道 旅の安全情報サイト** をご利用ください。

＜札幌圏の駅での集中的な除雪作業に係る一部列車の運休＞  
JR北海道では、**令和5年1月7日（土）～2月26日（日）の毎週土曜・日曜**に、札幌圏の駅で集中的な除雪作業を行うため、最終列車を含めた**一部列車を運休**します。  
JRをご利用の皆様は、ホームページから詳細をご確認ください。

こんな情報も掲載されています!

Hokkaido Safety-travel Information  
北海道 旅の安全情報  
<https://hokkaido-safe-travel.brdg.site/>

### ● 道メールマガジンDo・Ryoku（1/19）

○ 「北海道 旅の安全情報サイト」をご利用ください!

冬期の北海道では、大雪や暴風雪等による停電や災害のリスクが高まります。気象情報や交通情報等に注意して、暴風雪が予想される時は、家の中で過ごすなど外出を控えましょう。

また、北海道運輸局が運営している「北海道 旅の安全情報サイト」では、公共交通機関の運休情報などを確認できるので、北海道にお住まいの方や北海道へ観光で訪れた方もぜひご利用ください。

- ▼ 北海道 旅の安全情報サイトはこちら  
<https://hokkaido-safe-travel.brdg.site/>
- ▼ 冬期間のお役立ちリンク集もぜひご利用ください  
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/133369.html>

※ 総合政策部交通企画課 TEL 011-204-5162

札幌：R4. 12. 23～25  
東京：R5. 1. 28・29  
大阪：R5. 2. 11・12  
仙台：R5. 2. 18・19

### ● 「みなさんの赤れんが」道新・朝日・毎日・読売（全道版）（1/8）

**みなさんの赤れんが**

詳細は2次元コードをご覧ください  
みなさんの赤れんが 検索  
広報広聴部電話番号  
☎011-204-5110  
次の版の掲載予定は  
2月12日です

基本的な感染対策の再徹底をお願いします  
新型コロナウイルス感染症防止のため、三密の回避、手洗い等の手 hygiene、十分な換気など基本的な感染対策の再徹底をお願いします。飲食の際は、大声を出さず、短時間、会話の際はマスクを着用しましょう。また、日頃の備えとして解熱鎮痛剤、食料品、検査キットなどをご準備ください。

ひとりで悩まずに「にんしんSOSほっかいどうサポートセンター」へ  
道では、予期しない妊娠などにより悩みや不安を抱えた方が、安心して相談できる相談窓口を開設しました。経験豊富な専門スタッフが電話やメール、SNS等により相談に応じます。相談者の方の秘密は厳格に守られますので、ひとりで悩まずご相談ください。  
▶ にんしんSOSほっかいどうサポートセンター（080-4621-7722）  
相談対応時間：平日17時～23時、土日祝日 9時～23時（年末年始含む）

公共交通の運行情報サイトをご利用ください  
大雪などの交通障害発生時、公共交通の運行情報や道路情報等が確認できるとりまとめ情報サイト「北海道旅の安全情報サイト」をご利用ください。  
▶ 交通企画課（011-204-5162）

職業者等の遺族に対する特別弔慰金の請求は忘れずに!  
「職業者等の遺族に対する特別弔慰金」（第十一回特別弔慰金）の請求期限は本年3月31日です。請求期限を過ぎると、特別弔慰金を受ける権利がなくなりますので、お早めにお住まいの市区町村の課税担当にご確認ください。  
▶ 地域福祉課（011-204-5269）

北海道警察公式防犯アプリ「ほくとボリス」をご利用ください  
防犯アプリ「ほくとボリス」は、道内の犯罪、不審者、特殊警報情報を表示するほか、防犯ブザー・ちかかん防犯機能等により、皆さまの安全と安心を暮らしを支えます。ぜひご利用ください。  
▶ 警察本部生活安全企画課（011-251-0110）

### ● 北大学生交流ステーション デジタルサーネージ（2月～）

### ● イベントでのPR（12月～2月）



**Suspension into public transportation, in the event of a natural disaster, can be seen from here!**

<https://hokkaido-safe-travel.brdg.site/>  
Hokkaido Travel Safety Information Site URL（北海道 旅の安全情報サイトURL）

Hokkaido Travel Safety Search

airplane ferry Railroad bus road Other traffic

Information that needs attention

みんなが乗れば、未来が変わる。  
M.M.I.C.A. 2022

国土交通省 北海道運輸局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, The Government of Japan

### ● コカコーラ自動販売機の電光掲示板メッセージ（3/16～3/31） など